



2025年度 第21期 事業計画書

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062東京都世田谷区南烏山6-6-5安藤ビル3F

TEL : 03-6321-8948

Email: info@ftcj.org

URL : <https://www.ftcj.org>

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

2025年度 事業計画 (2025年1月1日～2025年12月31日まで)

1. 2025年度 事業実施方針

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、昨年2024年で創立25周年を迎えました。2024年度の事業報告で冒頭述べたように、25年の活動を続けて喜ばしい変化が国内外で確認された一方で、25年前に比べて全く進歩していないか、より一層悪化している社会課題があることも事実です。

国際社会の問題について述べた、2024年11月にブラジルで開催されたG20サミットでの「飢餓と貧困に対抗するグローバル・アライアンス」発足時のルーラ・ダシルバ大統領の言葉が非常に印象的だったので、ご紹介します。「私は2008年の金融危機後、ワシントンで開催された第1回G20首脳会議に出席した。それから16年後、私は世界がさらに悪化していることを目の当たりにし、悲嘆に暮れている。武力紛争の数は第二次世界大戦以来最多であり、強制移住の数は過去最多である。異常気象は地球の隅々にまで壊滅的な影響を及ぼしている。1,500万人以上の命を奪ったパンデミックの後、社会的、人種的、ジェンダー的不平等が深まっている。私たちの集団的悲劇の究極の象徴は、飢餓と貧困である。FAOによれば、2024年には7億3,300万人が栄養不足に直面するという。これは、ブラジル、メキシコ、ドイツ、イギリス、南アフリカ、カナダの人口を合わせたようなものだ。これらの人々は、生命、教育、開発、食糧に対する権利を日々侵害されている女性、男性、子どもたちである。年間60億トン近い食糧を生産する世界において、このような事態は容認できない。軍事費が2兆4,000億ドルに達する世界において、これは容認できない。」

ルーラ大統領が述べるように、SDGsの達成を目指す国際社会ですが、あまりにもその達成は前途多難といわざるを得ない状況です。フリー・ザ・チルドレン・ジャパンという小さな団体がができることは限られていますが、私たちのユニーク性を用いてフリー・ザ・チルドレンらしく活動していこう、ということをも2025年度の事業計画を考える会議で、事務局スタッフで確認しました。その結果、ビジョンを、「『世界は変えられる』子どもがそう信じられる社会に。」に変更し、国内外の子どもの権利が守られ、ウェルビーイングの実現をめざすことに注力して活動していきたいと考えています。

▼2025年度重点活動

1. コンゴ民主共和国への国際協力支援（現在、激しい紛争が現地から報告されているため、緊急支援に切り替えて活動を行っていく予定）
2. 日本の自治体などの地域や学校での「子どもの声を聴く」環境づくり支援
→ファシリテーターの育成や、おとなを対象にした活動
3. 子どもの権利やウェルビーイングの実現のための自己肯定感を高める教育プログラムの開発・提供への強化（テイク・アクション・キャンプをはじめとする子ども若者対象エンパワーメント事業）

以上、本事業を実施するにあたり様々な方々、メンバーやサポーターなどご協力くださる皆さまとともに、歩んでまいりたいと思いますので、どうぞ2025年度もよろしく願いいたします。

代表理事 中島早苗

2025年度事業実施に関する計画

<WE Movement>

・子ども主体活動

| 活動名 | 活動内容 | 日時 | 場所 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業予算(千円) |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|-------------------|----------|
| 子どもアンバサダー企画活動 | 2025年のアンバサダー（旧子ども代表委員）を募集し、アンバサダーがファシリテーターとなってフリー・ザ・チルドレンのメンバーを繋ぐイベントを実施できるようにする。また、自分がおこなったソーシャルアクションをブログやSNSで発信する取り組みも促す。また、アンバサダーは総会へ出席し組織運営について意見することができる。 | 通年 | 全国 | 子どもメンバー 約800人～ | 1,500 |
| メンバーチーム活動 | メンバー登録する子どもやユースが目的に応じてチームを組んでの活動する。 ▼チョコレートプロジェクト ▼アクションキッズ | 通年 | 全国 | 子どもメンバー 約800人～ | 1,200 |

・子ども活動応援

| 活動名 | 活動内容 | 日時 | 場所 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業予算(千円) |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|-----------|----------------------------------------|----------|
| 子ども若者育成 | 【Take Action Campの実施】 日本国内でキャンプを実施する。 (Take Action Campとは、子どもや若者が国内外の社会問題を知り、その解決に向けてアクションをおこなうためのノウハウを学び、自分に何ができるかを考えるための合宿型育成研修イベント) | 夏休みに3泊4日、冬休みに2泊3日の合宿型を実施 | 日本 | 国内の子ども 70人 | 2,500 |
| | 【ティーンボイスプロジェクトの実施】 (国立成育医療研究センター、一社Everybeingとの協働事業) コロナを振り返り、調査し、提言する子ども若者による政策提言を広める活動を行う。特にその声が聴かれない、またはあげづらい状況にある子どもの声に耳を傾け、その声を社会に発信するような活動を行う。イギリスの同事業とも連携して国際社会に子どもの声を聴くことの重要性を訴えていく。 | 通年 | 日本 | 16名+日本の子どもたち | 2,500 |
| | 【ファシリテーター育成活動】 リーダーシップトレーニングキャンプやワークショップを実施するためのファシリテータースタッフの育成をする。子どもの権利を理解、尊重し、子どもに接することができるような人材育成をする。また、育てたファシリテーターの活躍の場を提供する。 | 通年 | 主に東京都 | 全国のユース 30人 | 1,000 |
| | 【スタディツアー】 学校からの依頼など含めフィリピンの支援先を訪問するスタディツアーを、長期休みや学校の予定にあわせて実施予定。約1週間支援先の現地を訪問し、現地の子どもとの交流や国際協力について学び考える。 | 1月 3月 8月 | フィリピン・インド | 58名 | 6,500 |
| 子どもメンバー活動サポート | 【We are the MOVEMENT】 子ども・ユースメンバーからプロジェクト企画を募り、選考し、選ばれたプロジェクトの実施のサポートを事務局で行う。子どもや若者が主体的に社会問題に取り組む担い手となるよう支援する。採用プロジェクト数は12件程度を予定。 | 通年 | 全国 | 全国の子ども・若者12名及び参加者のアクションによる波及効果 360名 | 2,000 |
| | 【子どもメンバーのギャザリング・交流の場づくり】 年に1回同窓会、活動発表の場を設け交流を図る | 通年 | 全国 | 子どもメンバー（約800人～） | 300 |
| | 【全国の子どもメンバーからの質問対応、活動へのサポート】子ども世代からの質問対応、情報提供、子どもが活動しやすい会員制度の検討 ①アクションキットを使いアクションを促す ②フードドライブアクションキャンペーンの強化。秋にフードドライブキャンペーンを強く打ち出しし、各地で子どもたちがフードドライブアクションを起こせるようなサポート・PRを行う。 ③「広げよう！子どもの権利条約」キャンペーンと連動して子どもメンバーが政策提言に関わるためのキャンペーン活動を強化する。 ④子どもや若者が参加したり登壇したりする機会を提供したり、支援したりする。 | 通年 | 全国 | 子どもメンバー（約800人～） | 1,500 |

・アドボカシー（啓発）活動

| 活動名 | 活動内容 | 日時 | 場所 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業予算(千円) |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------|-----------------------------------------------|----------|
| 出前授業 | 出前授業・研修・講座・講演の実施 (国際理解教育、人権教育に関心のある学校や地域、こども意見聴取に関して自治体、団体などからの要請を受け事業を実施する。) 2024年目標：オンラインオフライン計1万人へ実施する。 | 通年 | 全国 | 全国の子ども・一般人：10,000人 教員：100人 自治体職員：1,000人 | 9,000 |
| FTCチェンジメーカー教育プログラム | ①子どもの意見聴取 子どもの意見聴取をサポートする研修・システムの構築 ②教材開発 wellbeing、子どもの権利条約についての教材開発・改定、ファシリテーターテキスト改訂を行う ③キャンペーンキット パスデードネーションのキャンペーンキットの開発を行う ④学校連携強化 全国の学校など教育機関に、チェンジメーカー教育プログラムの周知を行い、学校登録を促す。学校との連携事業を強化する。 ⑤自治体連携強化 全国の自治体に、子どもの意見聴取をサポートする講座・研修・ファシリテーター派遣を強化する。 | 通年 | 全国 | 全国の子ども達・一般人：10,000人 教員：100人 | 6,000 |
| 出版 | 書籍や雑誌を通じて、社会課題を伝えたり、子どものウェルビーイングが実現されたりするよう原稿執筆を行う | 通年 | 全国 | 全国の子どもや家族、子どもに関わるおとな5千人 | 300 |
| 物販 | 貧困層の自立につながるフェアトレード商品や国際理解教育教材(DVD)や書籍などの仕入れ、紹介、販売、管理を行う。また店舗での委託販売先の開拓も開始する。 ①児童労働シミュレーションカードゲーム等の教材販売促進キャンペーンを実施 ②子どもが文化祭等で販売する商品の開発の継続 ③オンラインショップを通じた販売の促進 | 通年 | 全国 | 全国のメンバー800人～ 購入者100人～ | 1,200 |
| イベント | FTCJ主催イベントの開催及び他団体主催によるイベントへの参加 ①FTCJ主催イベント 子どもの権利やウェルビーイングの実現に向けたイベントを実施する。Fesとの連動全国イベントとして開催する。フードロス及びフードドライブイベント、街頭募金、活動報告会他 ②他団体主催イベント パネル展示、動画上映、スピーチなどを通して、権利を奪われた子どもの現状や団体活動紹介をする。同時に物販活動も行う。(子どもの権利条約フォーラム、グロフェス、ワンフェス、ユースワンフェス、愛地球まつり、世田谷区国際メッセ) | 通年 | 全国 | 全国の子ども・一般10,000人 | 1,000 |
| メールマガジン/ニュースレター/アニュアルレポート発行 | ①メールマガジンを毎月2回発行する。 ②ニュースレター(年3回)を発行する ①アニュアルレポート(年1回)を発行する。(各750部) | 通年 | 団体オフィス | 全国の子ども・一般3,000人 | 500 |
| SNS | 子ども・若者メンバー向け情報発信ツール構築・発信を行う。 SNSを利用して活動内容を発信していく。 | 通年 | 団体オフィス | 子どもメンバー(約800人～) | 1,200 |
| webサイト | ①子どもを対象にしたウェブページの構築を行い、適切な情報が届くようにする。 ②支援先の情報、子どものアクションの情報を随時発信していく ③学校、自治体、企業などセクター別に分かりやすく情報を発信できるように改定する。 | 通年 | 団体オフィス | 全国の子ども・教育関係者・その他一般10,000人 | 1,800 |
| 問い合わせ対応/オフィス訪問対応 | 学校単位での訪問・インターンの受け入れ、ボランティア、来客対応 | 通年 | 団体オフィス | 月1回ボランティアデー、事務所訪問など | 100 |

・ Change Makers Fes

| 活動名 | 活動内容 | 日時 | 場所 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業予算(千円) |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----|----|---------------------|----------|
| Change Makers Fes2025 開催 | 社会貢献活動をおこなった子どもや若者をエンパワーし、チェンジメーカー同士が繋がる交流イベントを、12月21日に複数都市およびオンラインのハイブリッド形式で開催する。 | 通年 | 全国 | 25歳以下の子ども若者 400人 | 3,000 |
| Change Makers Fes2026 開催 | 2026年度以降に開催するフェスに向けた準備 | 通年 | 全国 | — | 100 |

・ 外部ネットワーク活動

| 活動名 | 活動内容 | 日時 | 場所 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業予算(千円) |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|-----------------------------|----------|
| 外部ネットワーク構築 | ①CL-Net(児童労働ネットワーク)・NGO労組協働フォーラムへの運営委員参加と事業実施 ②JNNE(教育協力NGOネットワーク)への運営委員参加と「SDG4教育キャンペーン2025」実行委員会復帰及び事務局担当 ③他組織の会員になって他団体と繋がって活動する。(新公益連盟、SDGsネットワーク等) ④「広げよう!子どもの権利条約」キャンペーンの運営と参加 ⑤フェアトレードタウンを世田谷で推進するためのネットワークへの参加 ⑥関西や新潟でのNGO/NPOネットワークへの参加 | 通年 | 全国 | 子どもの権利を侵害されている開発途上国及び国内の子ども | 5,000 |

自立支援事業：Free The Childrenプログラム
・海外事業

| 活動名 | 活動内容 | 日時 | 場所 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業予算(千円) |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------|----------------------|----------|
| インド | 【CCD支援】 西ベンガル州コルカタ付近にある現地NGO CCDを通じて貧困地域へ教育支援や食糧支援、収入や保健向上事業を行う。2月に現地訪問をし現状の課題と事業実施の評価を行う。 | 通年 | 西ベンガル州 | 貧困地域40世帯 | 924 |
| | 【リムラスクール支援】 マハラシュトラ州ムンバイ市内スラム地域の子どもの対象にした小学校リムラスクールに通う生活困窮家庭への奨学金支援の実施の可能性を探るため調査をする。 | 通年 | マハラシュトラ州 | スラム地域に暮らすムスリムの子ども10人 | 200 |
| フィリピン | 【プレダ基金子ども支援】 フィリピンのパートナーNGOプレダ基金を通じて、虐待を受けた子どもや、路上生活を強いられたり、法に抵触した子どもの自立に向けた包括的な支援を行う。 | 通年 | ルソン島 | 虐待や刑務所から救出された子ども200人 | 300 |
| | 【先住民族の子どもへの教育・栄養改善支援】 プレダ基金を通じて、ルソン島のサンパレス州にいるアエタ民族の幼稚園～小学校6年生までを対象にした健康改善のための食糧配給支援を行うことで、学校からの中退を防ぎ、健康支援を行う。 | 通年 | ルソン島 | 164人 | 800 |
| ケニア | 【FTCネットワーク活動】 ナロック群南ナロック県内の先住民族コミュニティを対象に、人々の健康向上のための包括的な保健支援を行う。また、先住民族の女の子が質の良い教育を受けられるよう、女子教育拡充支援を行う。 | 通年 | ケニア | 支援先農村の村民1500人 | 200 |
| コンゴ民主共和国(DRC) | 【農業/収入支援】 コンゴの南キブ州のコミュニティにいる農村貧困家庭を対象に、持続可能な農業支援や、収入向上支援を行い、人々、特に子どもの健康向上に向けた支援事業を行う。 | 通年 | DRC | 100人 | 3,500 |

・国内事業

| 活動名 | 活動内容 | 日時 | 場所 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業予算(千円) |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----------------------|----------|
| 国内の子ども支援 | 【キャンプ・スカラシップ支援】経済的な理由などでFTC主催のテイク・アクション・キャンプへの参加をあきらめざるを得ない子どもを対象に無料で参加できるよう支援する。 【教育応援金支援】ひとり親家庭や新型コロナウイルスの影響を受けた世帯、その他様々な理由で家計がピンチな状況にある世帯の子どもの対象に教育応援金の提供を実施。 | 通年 | 全国 | 経済的課題に直面する国内の子ども200人 | 2,000 |

管理部・その他 この法人の目的を達成するために必要な事業に関する計画

管理部

| 活動名 | 活動内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 事業予算(千円) |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|--------|----------|
| 翻訳 | 事業の運営に係る資料を日・英に翻訳 | 通年 | 東京 | 30 | 10 |
| 研修受講 | 円滑な組織・事務局運営のため研修を受講 事業実行のためのスキルアップ | 通年 | 東京 | 8 | 100 |
| 個人情報管理 | メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行う | 通年 | 東京 | 4 | 183 |
| ファンドレイジング | より良い事業運営、組織運営のため、資金調達計画を策定し、実施する。団体の活動をわかりやすく伝え、団体を支えていただく人を増やしていく | 通年 | 東京 | 3 | 400 |
| 広報・ブランディング | 広報が担当となり、計画的な広報を実施。サポーター増強のためのWEBサイトの更新、googleアナリティクスの運用など | 通年 | 東京 | 3 | 800 |
| 問い合わせ対応 | 事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例：事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など | 通年 | 東京 | 3 | 500 |
| 会計 | 組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し、税務関係資料作成や帳簿を付けるなどの業務を実施 | 通年 | 東京 | 2 | 2,500 |
| 制度 | セーフガーディング取得設計 | 通年 | 東京 | 3 | 100 |
| 理事会・事務局運営 | ・中長期計画に基づき、連携をする。 ・事業を円滑に実施するための理事会の運営。 | 通年 | 東京 | 11 | 500 |
| その他 | オンラインで労働環境の構築（ZOOMやバーチャルオフィスの利用等） | 通年 | 東京 | 5 | 50 |

3 2025年次の役員に関する事項

a) 理事会役員について 理事会より2024年次の理事および監事の候補の方々を紹介します。(順不同)

| 新・継続 | 氏名 | 役職 | 居所 | 紹介文 |
|------|---------------------|--------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 継続 | 中島 早苗 (なかじま さなえ) | 理事 【代表】 | 愛知 | FTCを日本で紹介しFTCJを1999年に設立して以来、活動に従事。04～05年度代表理事に就任後06～09年度に副代表理事兼事務局長に就任、10年度から代表理事に再任。 |
| 継続 | 原元 望 (はらもと のぞみ) | 理事 【副代表】 | 山口 | 2000年の高校生時代から活動に従事。2010年まで理事を務め、2011～2021年度まで事務局長として事務局全体の運営や組織基盤強化を担当する。2013年「アユスNGO新人賞」を受賞。 |
| 継続 | 出野 恵子 (いでの けいこ) | 理事 【事務局長】 | 東京 | 03年度より海外自立支援のインドを担当し、活動に従事。07年度より理事に就任。09～11年度まで事務局長を兼任し国内事業のほか組織基盤強化を担当。副代表理事を経て、22年より事務局長に再任。 |
| 継続 | 伴野 保志 (とも の やすし) | 理事 | 東京 | 2000年から活動に携わり、04～05年度に副代表理事に就任後06～09年度まで代表理事に就任。事務局では外部ネットワーク・リーダーや、総務担当として活動。10年度から副代表理事に就任。その後2018年より理事に就任。 |
| 継続 | 藤井 裕子 (ふじい ゆうこ) | 理事 | 兵庫 | 2007年にフィリピンへのスタディツアーに参加して以来、正会員として団体の組織運営を始め、関西での子どもの活動や出張講演サポートなど活動に従事。2016年から理事に就任。 |
| 継続 | 志賀 アリカ (しが ありか) | 理事 | 長野 | 09～11年度まで子ども代表委員として活動に参加し事務局運営や子ども主体事業企画運営に携わり、子どもメンバーとして積極的に活動を展開。2012年よりユース理事に就任。16年より社会人理事。 |
| 継続 | 林 大介 (はやし だいすけ) | 理事 | 東京 | 浦和大学社会学部現代社会学科准教授、子どもの権利条約ネットワーク事務局長、中野区子どもの権利委員会副委員長、模擬選挙推進ネットワーク事務局長等を就任。1976年東京生まれ3児の父親。FTCJにおける子どもの権利推進擁護活動の充実のため、2017年度より理事に就任。 |
| 継続 | 中島 慎治 (なかじま しんじ) | 理事 | 愛知 | 1999年にフィリピンの子どもの権利活動家の少女ピア(商業的性的搾取の被害者だったが12才の時FTCJのパートナー団体ブレダ基金に保護され活動家)に来日時のドキュメンタリー番組を制作したことからFTCJと接点を持つ。NHK報道局チーフプロデューサー。2019年から理事に就任。 |
| 継続 | 松下 耕二 (まつした こうじ) | 理事 | 東京 | 阪神淡路大震災でACのTVCMを見て、高校生ボランティアに参加。世界を良くするためにCMプランナーを志す。広告会社に勤務。2019年MBA取得、修士論文は「非営利組織の経営戦略」。2児の父。2020年度より理事会より理事に就任。 |
| 継続 | 倉下 由香 (くらした ゆか) | 監事 (会計) | 東京 | 2011年度より事務局の会計スタッフとして5年間勤務し、FTCJの活動を支えた。2018年度より新たな会計監事に就任。 |
| 継続 | 宮島 珠 (みやじま たま) | 監事 (会計) | 神奈川 | NPO法人取得から会計監査としてFTCJの活動を支えたのち、2019年の休みを挟み、2020年度より再度会計監事に就任 |

b) アドバイザーの紹介

◆長田 和弘(おさだ かずひろ) 税理士、中小企業診断士、准認定ファンドレイザー

税理士法人勤務を経て2019年2月長田和弘税理士事務所を開業。中小企業・NPOに対するクラウドソフトによる会計支援、業務効率化支援を中心に実施。経営計画策定支援、資金調達支援、助成金・補助金申請、認定NPO支援などを得意とする。

◆河合 将生 (かわい まさお) 氏

NPO・NGOの組織基盤強化やファンドレイジング、マネジメントのコンサルタントや、組織の協働・連携のコーディネート及び国際協力やキャリア育成に関する相談・講演を行うoffice musubimeの代表

◆平尾潔(ひらおきよし) 弁護士

日本弁護士連合会所属、世田谷区せたがやホッと子どもサポート委員。

◆堀内 光子 (ほりうち みつこ) 氏

労働問題や女性の権利の分野での研究・専門家。公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 理事長、地球憲章国際審議会委員、児童労働ネットワーク代表。また、2006年よりフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの活動をサポート。